

NO！リニア

No. 99

2017年9月2日

JR東海労働組合

茨城中央工業団地にリニア関連製造拠点 労働組合にきちんと説明せよ！

8月17日付の『茨城新聞・クロスアイ』にJR東海が茨城県の茨城中央工業団地にリニア中央新幹線の関連部材の製造拠点を整備するとの記事が掲載されました。

関連部材の製造は、従来の鉄道のレールなどに当たる軌道部（ガイドウェイ）の側壁としています。賃貸契約は工業用地4.3ヘクタールを県と2026年3月末まで締結したとのことでした。

今回のガイドウェイの製造について、一体どれだけの賃貸金を払って契約をしたのかは会社は明らかにしていません。また労働組合にも一言も説明していません。国からリニア建設のために3兆円もの融資を受けているのですから、国民や労働組合にもきちんと説明するべきではないでしょうか。国がリニア建設を認可したから説明はしないとすれば言語道断だと言わざるを得ません。まさにJR東海の建設ありきの姿勢と傲慢性が透けて見えます。

リニア中央新幹線は、工事による地下水の噴出や河川の枯渇、膨大な量の残土の処分先など自然環境への影響、地震対策などの異常時対策の数々の問題は未解決のままです。このような問題を未解決のまま、JR東海は工事を進めています。しまったとなってからでは遅すぎます。

JR東海労は、リニア中央新幹線建設に反対します。